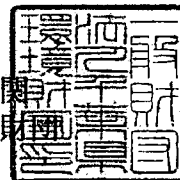


浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-00045	検査 No.	1-NY1-1806145
管轄行政機関	千葉市	千葉市			
管理者	住所	千葉市緑区土気町34		〒	267-0061
				TEL	043-294-3845
設置場所	氏名(名称)	昭和の森公園管理事務所			
	住所	千葉市緑区小食土町1153-23		〒	267-0062
	名称	千葉市昭和の森球技場		TEL	
使用開始日	昭和55年03月	放流先	蒸発拡散方式		
建築用途	娯楽	工事業者名			
製造業者	中衛工業(株)	名称(型式)			
人槽	90 人槽	使用人員	不特定		
処理方式	単独平面酸化方式	処理目標水質	90 mg/l		

総合判定	イ 適正	ロ おおむね適正	ハ 不適正
------	------	----------	-------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。

お願い

- 浄化槽法（第11条）に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	—
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	—
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	—
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	—
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	—
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.0	良
溶存酸素量	—	—
透視度	36.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

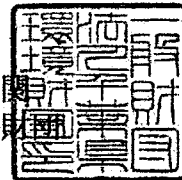
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／年	令和06年03月08日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年11月06日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-00046	検査 No.	1-NY1-1806146
管轄行政機関	千葉市	千葉市			
管理者	住所	千葉市緑区土気町34			〒 267-0061 TEL 043-294-3845
	氏名 (名称)	昭和の森公園管理事務所			
設置場所	住所	千葉市緑区小食土町1037-3			〒 267-0062 TEL
	名称	千葉市昭和の森竹林			
使用開始日	昭和55年03月	放流先	蒸発拡散方式		
建築用途	公衆便所	工事業者名			
製造業者	中衛工業㈱	名称(型式)			
人槽	40 人槽	使用人員	不特定		
処理方式	単独平面酸化方式	処理目標水質	90 mg/l		

総合判定	<input checked="" type="radio"/> イ 適正	<input type="radio"/> ロ おおむね適正	<input type="radio"/> ハ 不適正
------	---------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。

お願い

- 浄化槽法（第11条）に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	—
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	—
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	—
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	—
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	—
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.5	良
溶存酸素量	—	—
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

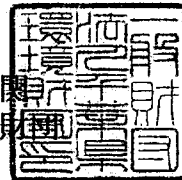
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／年	令和06年03月08日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月24日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-00048	検査 No.	1-NY1-1806147
管轄行政機関	千葉市		千葉市		
管理者	住所	千葉市緑区土気町34			〒 267-0061 TEL 043-294-3845
	氏名 (名称)	昭和の森公園管理事務所			
設置場所	住所	千葉市緑区小食土町1147-11			〒 267-0062 TEL
	名称	千葉市昭和の森お花見広場			
使用開始日	昭和50年05月		放流先	蒸発拡散方式	
建築用途	公衆便所		工事業者名		
製造業者	㈱たつみ産業		名称(型式)		
人 槽	150 人槽		使用人員	不特定	
処理方式	単独多室型+地下砂ろ過方式				処理目標水質 90 mg/l

総合判定	<input checked="" type="radio"/> イ 適正	<input type="radio"/> ロ おおむね適正	<input type="radio"/> ハ 不適正
------	---------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所 見

良好でした。

お 願 い

- 浄化槽法（第11条）に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	—
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	—
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	—
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	—
	l	生物膜または活性汚泥の状況	—
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	—
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害・虫・消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.5	良
溶存酸素量	—	—
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

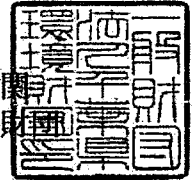
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／ 年	令和06年03月08日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月23日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-00049	検査 No.	1-NY1-1806148
管轄行政機関	千葉市		千葉市		
管理者	住所	千葉市緑区土気町34			〒 267-0061 TEL 043-294-3845
	氏名 (名称)	昭和の森公園管理事務所			
設置場所	住所	千葉市緑区小食土町774			〒 267-0062 TEL
	名称	千葉市昭和の森もみじ広場			
使用開始日	昭和50年05月		放流先	蒸発拡散方式	
建築用途	公衆便所		工事業者名		
製造業者	㈱たつみ産業		名称(型式)		
人槽	150 人槽		使用人員	不特定	
処理方式	単独多室型+地下砂ろ過方式				処理目標水質 90 mg/l

総合判定	<input checked="" type="radio"/> イ 適正	<input type="radio"/> ロ おおむね適正	<input type="radio"/> ハ 不適正
------	---------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。

お願い

1. 浄化槽法（第11条）に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
2. 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
3. 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
4. この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	—
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	—
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	—
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	—
	l	生物膜または活性汚泥の状況	—
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	—
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害・虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.5	良
溶存酸素量	—	—
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

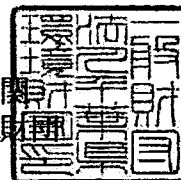
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／ 年	令和06年03月08日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月16日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-00052	検査 No.	1-NY1-1806149
管轄行政機関	千葉市		千葉市		
管理者	住所	千葉市緑区土気町34			〒 267-0061 TEL 043-294-3845
	氏名 (名称)	昭和の森公園管理事務所			
設置場所	住所	千葉市緑区土気町22			〒 267-0061 TEL 043-294-2884
	名称	千葉市緑公園緑地事務所			
使用開始日	昭和59年06月		放流先	蒸発拡散方式	
建築用途	事務所		工事業者名		
製造業者	フジグリーン工業㈱		名称(型式)	EⅡ-25	
人槽	25 人槽		使用人員	不特定	
処理方式	単独分離接触ばっ気方式				処理目標水質 90 mg/l

総合判定	<input checked="" type="radio"/> イ 適正	<input type="radio"/> ロ おおむね適正	<input type="radio"/> ハ 不適正
------	---------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。ただし次の点に注意してください。

浄化槽の蓋等の腐食には十分注意し、必要に応じて改善してください。

お願い

- 浄化槽法(第11条)に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	可
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	良
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	良
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	良
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	—
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	良
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

c-08 浄化槽上部及び周辺の利用または構造の状況(可)

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.0	良
溶存酸素量	4.6 mg/L	良
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

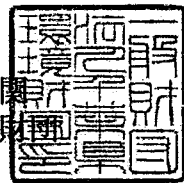
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／年	令和06年03月12日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月16日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246)-2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-10721	検査 No.	1-NY1-1806152
管轄行政機関	千葉県		千葉市		
管理者	住所	千葉市緑区土気町34		〒	267-0061
	氏名(名称)	昭和の森公園管理事務所		TEL	043-294-3845
設置場所	住所	千葉市緑区小食土町809		〒	267-0062
	名称	千葉市昭和の森公園冒険広場入口		TEL	
使用開始日	平成03年11月		放流先	蒸発拡散方式	
建築用途	公衆便所		工事業者名		
製造業者	フジクリーン工業(株)		名称(型式)		
人槽	200 人槽		使用人員	不特定	
処理方式	合併接触ばっ気方式			処理目標水質	20 mg/l

総合判定	イ 適正	ロ おおむね適正	ハ 不適正
------	------	----------	-------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。ただし次の点に注意してください。

放流水のpHが基準を下回っています。

お願い

- 浄化槽法(第11条)に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	良
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	良
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	良
	j	膜モジュールの稼働状況	一
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	良
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	一
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	良
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害・虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「一」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	5.4	可
溶存酸素量	5.1 mg/L	良
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

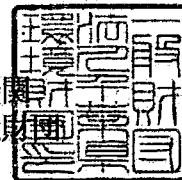
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	1 回 / 月	令和06年05月28日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月23日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-14465	検査 No.	1-NY1-1806153	
管轄行政機関	千葉市		千葉市			
管理者	住所	千葉市緑区土気町34		〒	267-0061	
	氏名 (名称)	昭和の森公園管理事務所		TEL	043-294-3845	
設置場所	住所	千葉市緑区土気町34		〒	267-0061	
	名称	千葉市昭和の森協会の森事務所		TEL	043-294-2884	
使用開始日	平成07年03月		放流先	蒸発拡散方式		
建築用途	事務所		工事業者名	ダイキ(株)		
製造業者	(株)ダイキアクシス		名称(型式)	SNH-14		
人槽	14 人槽		使用人員	不特定		
処理方式	小型合併嫌気ろ床接触ばっ気方式				処理目標水質	20 mg/l

総合判定	イ 適正	ロ おおむね適正	ハ 不適正
------	------	----------	-------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。

お願い

- 浄化槽法（第11条）に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	良
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	良
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	良
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	—
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	良
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害・虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.4	良
溶存酸素量	5.1 mg/L	良
透視度	34.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

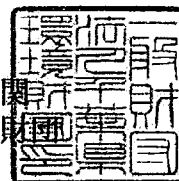
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／ 年	令和06年03月12日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月16日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-23710	検査 No.	1-NY1-1806155
管轄行政機関	千葉県		千葉市		
管理者	住所	千葉市緑区土気町34		〒	267-0061
	氏名 (名称)	昭和の森公園管理事務所		TEL	043-294-3845
設置場所	住所	千葉市緑区小食土町1070		〒	267-0062
	名称	千葉市昭和の森テニスコート(身障者用)		TEL	
使用開始日	平成20年04月01日		放流先	蒸発拡散方式	
建築用途	公衆便所		工事業者名	末木水道工業㈱	
製造業者	フジクリーン工業㈱		名称(型式)	CE-7	
人槽	7 人槽		使用人員	不特定	
処理方式	小型合併接触ろ床方式				処理目標水質 20 mg/l

総合判定	<input checked="" type="radio"/> イ 適正	<input type="radio"/> ロ おおむね適正	<input type="radio"/> ハ 不適正
------	---------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。

お願い

- 浄化槽法（第11条）に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	良
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	良
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	良
	j	膜モジュールの稼働状況	一
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	良
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	一
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	一
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「一」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.7	良
溶存酸素量	5.0 mg/L	良
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.6 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

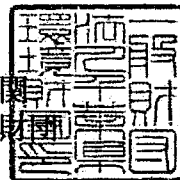
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／ 年	令和06年03月08日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月26日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-23711	検査 No.	1-NY1-1806156
管轄行政機関	千葉市	千葉市			
管理者	住所	千葉市緑区土気町34		〒	267-0061
	氏名(名称)	昭和の森公園管理事務所		TEL	043-294-3845
設置場所	住所	千葉市緑区小食土町1147-27		〒	267-0062
	名称	千葉市昭和の森お花見広場入口(身障者用)		TEL	
使用開始日	平成20年04月01日	放流先	蒸発拡散方式		
建築用途	公衆便所	工事業者名	末木水道工業(株)		
製造業者	フジクリーン工業(株)	名称(型式)	CE-7		
人槽	7 人槽	使用人員	不特定		
処理方式	小型合併接触ろ床方式	処理目標水質	20 mg/l		

総合判定	イ 適正	ロ おおむね適正	ハ 不適正
------	------	----------	-------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

放流ポンプが稼働不良です。確認の上、適切な措置を講じてください。

お願い

- 浄化槽法(第11条)に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	不可
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	良
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	良
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	良
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	—
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	不可
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒・臭・害・虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

g-29 ポンプの稼働状況(不可)

p-47 原水ポンプ槽及び放流ポンプ槽の水位の状況(不可)

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.0	良
溶存酸素量	4.2 mg/L	良
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.2 mg/L	良

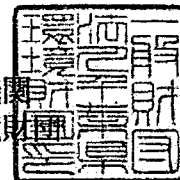
前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 □ おおむね適正		

III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／年	令和06年03月08日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月24日		良



千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079

浄化槽法第11条検査結果書

検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-23768	検査 No.	1-NY1-1806157
管轄行政機関	千葉市	千葉市			
管理者	住所	千葉市緑区土気町34 〒 267-0061 TEL 043-294-3845			
	氏名(名称)	昭和の森公園管理事務所			
設置場所	住所	千葉市緑区小食土町938-4 〒 267-0062 TEL			
	名称	千葉市昭和の森湿生植物園(だれでもトイレ)			
使用開始日	平成20年04月01日	放流先	蒸発拡散方式		
建築用途	公衆便所	工事業者名	フジクリーン工業㈱		
製造業者	フジクリーン工業㈱	名称(型式)	CE-7		
人槽	7 人槽	使用人員	不特定		
処理方式	小型合併接触ろ床方式	処理目標水質	20 mg/l		

総合判定	イ 適正	ロ おおむね適正	ハ 不適正
------	------	----------	-------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。

お願い

- 浄化槽法(第11条)に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	良
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	良
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	良
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	良
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	—
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.5	良
溶存酸素量	5.6 mg/L	良
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

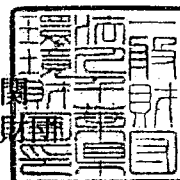
検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／ 年	令和06年03月08日	良
清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年11月06日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246) 2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-26983	検査 No.	1-NY1-1806158
管轄行政機関	千葉市	千葉市			
管理者	住所	千葉市緑区土気町34		〒	267-0061
				TEL	043-294-3845
設置場所	氏名 (名称)	昭和の森公園管理事務所			
	住所	千葉市緑区土気町22		〒	267-0061
	名称	千葉市昭和の森テニスコートイレ		TEL	
使用開始日	令和04年03月	放流先	蒸発拡散方式		
建築用途	娯楽	工事業者名	(株)ダイキアックス		
製造業者	(株)ダイキアックス	名称(型式)	DCX-16		
人槽	16 人槽	使用人員	不特定		
処理方式	小型合併分離嫌気ろ床担体流動方式				処理目標水質 20 mg/l

総合判定	イ 適正	ロ おおむね適正	ハ 不適正
------	------	----------	-------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。

お願い

- 浄化槽法（第11条）に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	良
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	良
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	良
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	良
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	良
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害・虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.4	良
溶存酸素量	4.1 mg/L	良
透視度	23.0 度	良
残留塩素濃度	0.1 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA1-18035
区分・総合判定	11条 イ 適正		

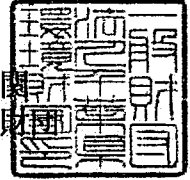
III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回 / 年	令和06年03月08日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月26日		良

浄化槽法第11条検査結果書

千葉県知事指定検査機関
一般財団法人 千葉県環境財団
千葉市中央区中央港 1-11-1
TEL 043 (246)-2079



検査員氏名

検査日	令和06年07月03日	管理 No.	01-27216	検査 No.	1-NY1-1806159
管轄行政機関	千葉市		千葉市		
管理者	住所	千葉市緑区土気町34			〒 267-0061 TEL 043-294-3845
	氏名 (名称)	昭和の森公園管理事務所			
設置場所	住所	千葉市緑区土気町22			〒 267-0061 TEL
	名称	千葉市昭和の森お花見広場入口トイレ			
使用開始日	令和05年04月	放流先	蒸発拡散方式		
建築用途	公衆便所	工事業者名			
製造業者	アムズ(株)	名称(型式)	CXA-45		
人槽	45 人槽	使用人員	不特定		
処理方式	合併流量調整嫌気ろ床担体流動浮上ろ過方式				処理目標水質 20 mg/l

総合判定	イ 適正	ロ おおむね適正	ハ 不適正
------	------	----------	-------

(注) 総合判定は、外観検査、書類検査、水質検査をもとに判定したものです。

所見

良好でした。

お願い

- 浄化槽法（第11条）に基づき、毎年1回指定検査機関が行う法定検査を受けることが義務づけられています。来年以降も必ず受検してください。
- 検査結果書は、保守点検・清掃の記録とともに、最低3年間保存してください。
- 所見欄に改善すべき事項が記載されている場合は、保守点検業者等関係業者に相談のうえ、必要な改善を行ってください。
- この検査結果は、浄化槽法に基づき管轄行政機関に報告されます。総合判定が「ハ不適正」の場合などには、行政機関から問い合わせを受ける場合がありますので、ご留意願います。

検査項目及び判断結果

I. 外観検査

区分	No.	検査項目	判断
設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	良
	b	漏水の状況	良
	c	浄化槽上部の状況	良
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	良
	e	内部設備の固定状況	良
	f	設置に係るその他の状況	良
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況	良
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況	良
	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	良
	j	膜モジュールの稼働状況	—
	k	制御装置及び調整装置の稼働状況	良
	l	生物膜または活性汚泥の状況	良
	m	設備の稼働に係るその他の状況	—
水の流れ方の状況	n	管渠、升及び各単位装置間の水流の状況	良
	o	越流せきにおける越流状況	—
	p	各単位装置内の水位及び水流の状況	良
	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況	良
	r	水の流れ方に係るその他の状況	良
使用の状況	s	特殊な排水等の流入状況	良
	t	異物の流入状況	良
	u	使用に係るその他の状況	良
毒悪・臭・害・虫消	v	悪臭の発生状況	良
	w	消毒の実施状況	良
	x	か、はえ等の発生状況	良

外観検査において、可または不可と判断されたチェック項目(チェック項目は裏面参照)

外観検査・水質検査・書類検査において、該当が無い項目は判断に「—」を表示しています。

II. 水質検査

検査項目	測定値	判断
pH	7.3	良
溶存酸素量	3.6 mg/L	良
透視度	50.0 度	良
残留塩素濃度	0.05 mg/L	良

前回検査の内容

検査実施日	令和05年07月14日	検査No.	1-WA0-18002
区分・総合判定	7条 イ 適正		

III. 書類検査

保守点検業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
保守点検回数(実施日)	4 回／ 年	令和06年03月06日	良

清掃業者名	(株)センエー		
検査項目及び判断			
記録の有無	良	記録の内容	良
清掃回数(実施日)	令和05年10月24日		良

～～ 検査結果書の項目と解説 ～～

I. 外観検査のチェック項目

設置状況	a	槽の水平、浮上または沈下、破損または変形等の状況	i	汚泥返送装置、汚泥移送装置、循環装置、逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況	水の流れの方 状況	58	腐敗室、沈殿分離槽及び嫌気ろ床槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 (夾雑物除去槽等、固液分離機能の一次処理)
	01	水平の状況	34	汚泥返送装置及び汚泥移送装置の稼働状況		59	ばっ気槽及び接触ばっ気槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 (脱窒槽、硝化槽、回分槽、膜分離槽等)
	02	浮上または沈下の状況	35	循環装置の稼働状況		60	生物ろ過槽及び担体流動槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況
	03	破損または変形の状況	36	逆洗装置及び洗浄装置の稼働状況		61	沈殿槽及び処理水槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況
	b	漏水の状況	j	膜モジュールの稼働状況		62	消毒槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況
	04	漏水の状況	37	膜モジュールの稼働状況		63	消泡ポンプ槽及び水中ブロワ槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況
	05	溢流の状況	k	制御装置及び調整装置の稼働状況		64	放流ポンプ槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況
	c	浄化槽上部の状況	38	制御装置の稼働状況		65	汚泥処理設備の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況 (汚泥貯留槽)
	06	上部スラブの打設の有無	39	調整装置の稼働状況		r	水の流れ方に係るその他の状況
	07	嵩上げの状況	l	生物膜または活性汚泥の状況		66	汚泥の流出状況
	08	浄化槽上部及び周辺の利用または構造の状況	40	生物膜の状況		s	特殊な排水等の流入状況
	d	雨水、土砂等の槽内への流入状況	41	活性汚泥の状況		67	油脂類の流入状況
	09	雨水の流入状況	m	設備の稼働に係るその他の状況		68	処理対象以外の排水の流入状況 (配管上問題ない)
	10	土砂等の流入状況	42	その他の設備の稼働状況 (換気、照明設備、三次処理等)		t	異物の流入状況
	11	その他の特殊な排水の流入状況 (屋外給水管、受水槽等の配管上の問題)	n	管渠、弁及び各単位装置間の水流の状況		69	異物の流入状況
	e	内部設備の固定状況	43	流入管渠(路)の水流の状況		u	使用に係るその他の状況
	12	スクリーン設備の固定状況	44	放流管渠(路)の水流の状況		70	流入汚水量、洗浄用水等の使用の状況
	13	ポンプ設備の固定状況	45	各単位装置間の水流の状況		v	悪臭の発生状況
	14	接触材、ろ材、担体等の固定及び保持状況	o	越流せきにおける越流状況		71	悪臭の発生状況
	15	ばっ気装置の固定状況	46	越流せきにおける越流状況		72	悪臭防止装置の実施状況
	16	攪拌装置の固定状況	p	各単位装置内の水位及び水流の状況		w	消毒の実施状況
	17	汚泥返送装置及び汚泥移送装置の固定状況	47	原水ポンプ槽及び放流ポンプ槽の水位の状況		73	消毒剤の有無
	18	循環装置の固定状況	48	流量調整槽の水位及び水流の状況		74	処理水と消毒剤の接触状況
	19	逆洗装置及び洗浄装置の固定状況	49	嫌気ろ床槽の水位の状況		x	か、はえ等の発生状況
	20	膜モジュールの固定状況	50	ばっ気槽の水位及び水流の状況 (脱窒槽、硝化槽、回分槽、膜分離槽等)		75	か、はえ等の発生状況
	21	消毒設備の固定状況	51	接触ばっ気槽の水位及び水流の状況			
	22	越流せきの固定状況	52	生物ろ過槽、担体流動槽の水位及び水流の状況			
	23	隔壁、仕切板及び移流管(口)の固定状況	53	平面酸化床及び散水ろ床の水流の状況			
	24	その他の内部設備の固定状況 (流調分水装置、散水とい、平面酸化床等)	54	沈殿槽及び処理水槽の水位及び水流の状況			
	f	設置に係るその他の状況	55	その他の単位装置の水位及び水流の状況 (ろ材充填のない装置、沈殿分離槽、夾雑分離槽等)			
	25	設置場所の状況	q	汚泥の堆積状況及びスカムの生成状況			
	26	流入管渠及び放流管渠の設置状況	56	原水ポンプ槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況			
	27	送風機の設置状況	57	流量調整槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況			
	28	増改築等の状況					
設備の稼働状況	g	ポンプ、送風機及び駆動装置の稼働状況			悪臭・消毒・害虫		
	29	ポンプの稼働状況					
	30	送風機の稼働状況					
	31	駆動装置の稼働状況					
	h	ばっ気装置及び攪拌装置の稼働状況					
設備の稼働状況	32	ばっ気装置の稼働状況					
	33	攪拌装置の稼働状況					

～～ 検査結果書の項目と解説 ～～

Ⅱ. 水質検査のチェック項目

チェック項目	望ましい範囲
pH	5.8 ～ 8.6
汚泥沈殿率	10%以上(種類により異なる)
溶存酸素量	単独処理 0.3mg/ℓ以上 合併処理 1.0mg/ℓ以上
透視度	単独処理 7度以上 合併処理 BOD 60mg/ℓ 10度以上 BOD 30mg/ℓ 15度以上 BOD 20mg/ℓ 20度以上
残留塩素濃度	検出されること
BOD	単独処理 90mg/ℓ以下 合併処理 20mg/ℓ以下 (合併処理の場合は種類により異なる)

Ⅲ. 書類検査のチェック項目

チェック項目	
保守点検記録の有無	清掃記録の有無
保守点検記録の内容	清掃記録の内容
保守点検の回数(実施日)	清掃の回数(実施日)

チェック項目の判断及び総合判定について

チェック項目は、次の3段階に分けて判断し、さらに各項目の判断結果を含めて評価し、総合判定(イ～ハ)とする。

[チェック項目の判断]

良 : 望ましい状態にある、または異常が認められない。

可 : 一部望ましくない状態または異常が認められるが、通常の保守点検及び清掃の範囲で回復が可能な程度であり、処理機能等に影響を与える恐れが小さい。

不可 : 望ましくない状態または異常が認められ、主として当該単位装置の処理機能等に影響を与えることが明らかである。

[総合判定]

イ 適 正 : 浄化槽の設置及び維持管理状況に問題がない。

ロ おおむね適正 : 浄化槽の設置及び維持管理状況に関し、一部改善することが望ましいと認められる。または今後の経過を注意して観察する必要がある。

ハ 不 適 正 : 浄化槽の設置及び維持管理状況に関し、法に基づく諸基準に違反している恐れがあると考えられ、改善を要すると認められる。

浄化槽に関する用語の説明

- インバート升 : 管路の途中に設ける点検用の升の一種。汚水中の汚物や固形物が停滞しないように底部に半円状の溝(インバート)を切っている。
- 一次処理 : 処理の順序を表す用語で、生物処理など後段の処理を効果的におこなうための前処理。浄化槽の一次処理装置としては、汚水中の浮遊物質の除去や貯留を行う腐敗室、沈殿分離室(槽)、嫌気ろ床槽、夾雑物除去槽、固液分離貯留槽などがあり、浄化槽の規模や二次処理装置の違いにより使い分けられている。
- スカム : 沈殿分離槽、嫌気ろ床槽、沈殿槽、処理水槽等に発生する浮上物の一種。浮遊物質や汚泥等にメタン、二酸化炭素、窒素などの気泡が付着することで見かけ比重が小さくなり、浮上する。
- ブロワ : 機器や装置に空気を供給する送風機の種類。主に生物処理(反応)装置のばっ気攪拌用の送風機として用いられている。
- ばっ気 : 液体中に酸素を供給したり、液体中のガスを揮散させる目的で液体と空気を接触させる操作。水処理の場合、酸素の供給のほか、流体を十分に攪拌混合する機能も兼ねている。
- 二次処理 : 一次処理で除去できない微細なSS(懸濁物質あるいは浮遊物質)や溶解性有機物質を、微生物による生物吸着・酸化作用により除去する処理工程。
- pH : 水の液性を表す指標の一つで、pH7は中性、それより低い場合が酸性、高い場合がアルカリ性を表す。
- 溶存酸素 : 水中に溶解している酸素の量。DOともいう。
- 透視度 : 水の清澄の程度を示す指標の一つ。単位は1cmを1度で表す。
- 残留塩素濃度 : 水中に残留している有効塩素の濃度を表す。浄化槽の水質検査では、比色法により検出されることが望ましいとされている。
- BOD : 水の汚濁状態を表す指標の一つで、生物化学的酸素要求量のこと。水中の汚れとなる有機物質が、微生物により酸化(分解)される際に消費される酸素量。通常20℃、5日間で消費された溶存酸素量をmg/ℓで表す。